

一般廃棄物におけるエアゾール缶及びカセットボンベのリサイクル率について

令和2年8月6日
一般社団法人 日本エアゾール協会

1. はじめに

現代社会に於いては、循環型社会が求められ消費者はエコ製品を買い、又会社ではCSRが求められその中でも環境問題は企業が負う重要な社会的責務となっている。その様な中、使用済みエアゾール缶及びカセットボンベのリサイクル状況について、環境省のデータを基にリサイクル率を推測した。尚エアゾール缶・カセットボンベを以下、スプレー缶と表記する。

2. 調査資料

スプレー缶のリサイクル率は、自治体に対する環境省廃棄物適正処理推進課調査資料「廃エアゾール製品・カセットボンベの収集・処分に関する調査」及び自治体のホームページ調査、電話聞き取り調査をもとに纏めた。

3. 結果

スプレー缶のリサイクル率は 89.4%~96.6% と推測した。

このリサイクル率は、実際のスプレー缶供給重量から回収重量にて算出した重量ベースの数字ではありません（公表された数字は無い）。自治体のスプレー缶の処理方法（状況）を調査し、人口比率に基づき、リサイクル率を算出した。

自治体の処理方法を確認し破碎処理、圧縮処理、再資源化については、リサイクルされていると推定した（人口比率で84.0%）。焼却・溶解、埋め立て、その他の200自治体については、内36自治体に電話リサーチし（人口比率5.4%）リサイクルされているのを確認した。よって最低89.4%のリサイクルがされていると考えた。又残りの164自治体について電話リサーチの結果比率にて推測した結果（人口比率7.2%）

の

リサイクルがされていると推測し最大96.6%がリサイクルされていると考察した。

注）産業廃棄物として処理される事業系ごみは、調査対象外としている。

4. 検証

1) 環境省廃棄物適正処理推進課資料「廃エアゾール製品・カセットボンベの収集・処分に関する調査」結果より

(1) 表 1. 調査回収率

〔市区町村数及び人口数〕（在留外国人含む）2019年7月調査資料

項目	全国市区町村数	回収数	回収比率
市区町村数	1,741	1,570	90.2%
人口数	128,853,393	124,484,588	96.6%

(2) アンケート内容分析

※市区町村でのスプレー缶の処理方法の項目を分析（複数回答）

①処理方法の項目、1. 破碎処理 2. 圧縮処理 3. 再資源化 4. 焼却・溶融 5. 埋め立て 6. その他
となっており回答が複数回答の為、

A分類[リサイクルされている]=1. 破碎処理 2. 圧縮処理 3. 再資源化はリサイクルされている（4. 5. 6 項目含まれない）

B分類 [調査必要] =4. 焼却・溶融 5. 埋め立て・ 6. その他は、内容不明の為調査が必要（1. 2. 3 項目含まれる）に区分けした。

表 2. 処理方法の区分

処理の仕方	複数回答		分類	A・B分類 (B=4. 5. 6項目が1項目でも含まれていた)			
	市区町村	人口数		市区町村	人口数	市区町村比	人口比
1. 破碎処理	618	51,430,489	A	1,370	104,547,549	87.3%	84.0%
2. 圧縮処理	713	55,604,235					
3. 再資源化	1,021	90,998,288					
4. 焼却・溶融	56	8,470,860	B	200	19,937,039	12.7%	16.0%
5. 埋め立て	116	8,365,247					
6. その他	54	6,538,125					
計	2,578	221,407,244	計	1,570	124,484,588	100.0%	100.0%

※A分類[リサイクルされている]=1. 2. 3 項目のみ（4. 5. 6 項目が含まれない）

市区町村数 1,370 件 市区町村比 87.3% 人口比 84.0%となった。

A分類=人口比率で 84.0% はリサイクル出来ている

※B分類 [調査必要] =4. 5. 6. 項目（1. 2. 3 項目も含まれる） 市区町村数 200 件

市区町村比 12.7% 人口比 16.0%となり、B分類 市区町村 200 件の詳細内容を調査する。

②処理項目B分類=4. 5. 6 項目（200 件の調査）

イ) 表 3. 電話リサーチ

電話にて確認（B分類=200 件中 36 件 [18.0%] を電話リサーチ）

調査対象は、人口の多い、中、少ない自治体からランダムに抽出した。

項目	市区町村数	人口数	全国比率		電話リサーチ	
			市区町村比	人口比	市区町村比	人口比
リサイクルしている	31	6,777,367	2.0%	5.4%	86.1%	79.1%
埋め立て	5	1,786,616	0.3%	1.4%	13.9%	20.9%
計	36	8,563,983	2.3%	6.8%	100.0%	100.0%
イ)	1,401	111,324,916	89.2%	89.4%		

イ)=A分類+電話リサーチにてリサイクルしている分 計 89.4% リサイクル出来ている。

ロ)表 4. 電話リサーチ以外の項目

(B分類=200件中電話リサーチ除く164件を電話リサーチの比率[79.1%]にて算出)

項目	市区町村数	人口数	全国比		電話リサーチ比率	
			市区町村比	人口比	市町村比	人口比
リサイクルしている	141	8,996,087	9.0%	7.2%	86.1%	79.1%
埋め立てしている	23	2,376,969	1.5%	1.9%	13.9%	20.9%
計	164	11,373,056	10.4%	9.1%	100.0%	100.0%
ロ)	1,542	120,321,003	98.2%	96.6%		

ロ)=イ)+電話リサーチ以外164件を電話リサーチ比率(リサイクル出来ている)にて算出
計96.6%リサイクル出来ていると推測。

スプレー缶のリサイクル率は、89.4%~96.6%と推測される。

5. 参考

1) 各業界のリサイクル率

インターネット調べ

素材	指標	年度	率
飲料アルミ缶	リサイクル率	2018年度	93.6%
スチール缶	リサイクル率	2018年度	92.0%
18L缶	リサイクル率	2018年度	93.3~97.5%
ガラス瓶	リサイクル率	2017年度	69.2%
ペットボトル	リサイクル率	2017年度	84.8%
プラスチック容器包装	リサイクル率	2017年度	46.3%
段ボール	回収率	2017年度	96.1%
紙パック	回収率	2017年度	43.4%
紙製容器包装	回収率	2017年度	24.5%

2) スプレー缶の国内消費量の推計

国内で約8億本、50千トン消費されている。(輸入製品含む)

(内、エアゾール缶 6億本強、34千トン)

素材別構成比(重量ベース) スチール缶87%、アルミ缶13%

3) エアゾール缶廃棄時市区町村の穴あけ指示あり・なしの比率

2019年7月

環境省「廃エアゾール製品・カセットボンベの収集・処分に関する調査」結果より

項目	市区町村数	人口数	市区町村比率	人口比率
穴あけあり	897	45,838,134	57.1%	36.8%
穴あけ無し	666	77,616,232	42.4%	62.4%
その他	7	1,030,222	0.5%	0.8%
計	1,570	124,484,588	100.0%	100.0%

6. 最後に

今回の資料作成にあたっては、(一社)日本ガス石油機器工業会・日本エアゾール容器協議会の協力を頂き作成致しました。多大なるご協力有り難うございました。

又資料の基となった「廃エアゾール製品・カセットボンベの収集・処分に関する調査」資料を戴きました環境省廃棄物適正処理推進課様には、心より感謝申し上げます。

以上